



本資料は、米国アッヴィ社が2020年2月7日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2020年2月14日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com)をご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

## PRESS RELEASE

2020年2月14日

### アッヴィ、2019年第4四半期および通年の業績を発表

- 2019年通年の希薄化EPSはGAAPベースで、44.3%増の5.28ドルでした。調整後希薄化EPSは、13.0%増の8.94ドルでした。
- 2019年通年の売上高は、GAAPベースで1.6%増の332億6,600万ドルでした。調整後の売上高は、営業ベースで2.7%増でした。ヒュミラ®の米国外でのバイオシミラーによるマイナス影響を除くと、調整後の通年の売上高は、営業ベースで9.9%増でした。
- 2019年通年のヒュミラ®の米国での売上高は、8.6%増の148億6,400万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで31.1%減、営業ベースで27.8%減の43億500万ドルでした。
- 2019年通年の血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで39.0%増、営業ベースで39.3%増の54億6,600万ドルでした。通年のイムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社が承認、発売)の全世界での売上高は30.2%増の46億7,400万ドルで、その内訳は、米国内が38億3,000万ドル、米国外が8億4,400万ドルでした。ベネクレスト®の全世界の売上高は、7億9,200万ドルでした。
- 2019年通年のスキリージ®の売上高は、3億5,500万ドルでした。リンヴォック®(日本では承認、未発売)の全世界での売上高は、4,700万ドルでした。アッヴィは、スキリージ®とリンヴォック®を合わせた、2020年の売上高は約17億ドルを見込んでいます。
- 2019年第4四半期の希薄化EPSはGAAPベースで1.88ドル、調整後のEPSは2.21ドルでした。
- 2019年の第4四半期の売上高は、GAAPベースで4.8%増、営業ベースで5.3%増の87億400万ドルでした。米国外でのバイオシミラーによるマイナス影響を除くと、第4四半期の売上高は、営業ベースで11.0%増でした。
- アッヴィとアラガン社は、BrazikumabとZenpepを売却することを発表します。アッヴィは、2020年第1四半期にアラガン社の買収手続きを完了するものと見込んでいます。



- 2020年の単独のGAAPベースの希薄化EPSの見通は、7.66~7.76ドルを提示します。これは中間値において46.0%増となります。2020年の単独の調整後希薄化EPSの見通しは9.61~9.71ドルを提示します。これは中間値において8.1%増となります。2020年の単独の通年の売上高の伸び率は8.0%に届くものと見込んでいます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2020年2月7日—アッヴィ(NYSE:ABBV)は、2019年第4四半期および通年(2019年12月31日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「第4四半期も好業績を上げることができ、2019年もまたビジネスは好調でした。スキリージ®とリンヴォック®の上市後の展開は非常によく、2020年に入ってもこの勢いが続いています。また、アラガン社の買収の手続きを第1四半期に完了予定です」

#### 第4四半期の業績

- 全世界の売上高は、報告ベースで4.8%増、営業ベースで5.3%増の87億400万ドルでした。ヒュミラ®の米国外でのバイオシミラーによるマイナス影響を除くと、営業ベースで11.0%増でした。
- ヒュミラ®の米国での売上高は、9.8%増の39億6,900万ドルでした。米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで27.3%減、営業ベースで25.4%減の9億4,800万ドルでした。全世界の売上高は、報告ベースでは横ばい、営業ベースでは、0.5%増の49億1,700万ドルでした。
- イムブルビカ®の全世界での売上高は28.9%増の12億9,600万ドルで、その内訳は、米国内が10億7,300万ドル、米国外が2億2,300万ドルでした。ベネクレクスタ®の全世界の売上高は、2億5,100万ドルでした。血液腫瘍領域の全世界での売上高は、報告ベースで37.0%増、営業ベースで37.2%増の15億4,700万ドルでした。
- スキリージ®の全世界の売上高は、2億1,600万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、3,300万ドルでした。
- GAAPベースで、売上総利益率は77.0%でした。調整後売上総利益率は81.6%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、22.4%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は21.6%でした。
- GAAPベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、17.7%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、15.3%でした。
- GAAPベースで、営業利益率は45.5%でした。調整後営業利益率は44.6%でした。
- GAAPベースで、純支払利息は4億5,500万ドルでした。調整後の純支払利息は2億8,200万ドルでした。
- GAAPベースの税率は、8.9%でした。調整後の税率は、8.8%でした。
- 希薄化1株当たり利益は、GAAPベースで1.88ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化EPSは、2.21ドルでした。



注意：「営業ベース(Operational)の対比は恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)

<https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-full-year-and-fourth-quarter-2019-financial-results.htm>

## アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、がん、C型慢性肝炎などのウイルス感染症およびニューロサイエンスの4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

## アッヴィ 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する記述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する記述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する記述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission(米国証券取引委員会)に提出済みのアッヴィの2018年度アニュアルレポート(10-K書式)の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する記述を更新する義務を負わないものとします。